

豊橋の農業のあらまし

豊橋の概況

●面積…261.86km² ●東西…17.8km ●南北…23.9km

豊橋市は、愛知県の東南部に位置し、東は静岡県、南は太平洋、西は三河湾に面し、概ね平坦な地形と穏やかな気候に恵まれた地域である。古くから交通の要衝として利用され人口37.1万人の県下第4の都市を築く一方で、三河港の開港など東三河の中核都市としても発展を続けている。又、農業は、昭和43年豊川用水の全面通水により園芸地帯へと大きく発達し、農業産出額387.1億円で全国でも上位を誇る地位にある。

豊橋の気象

●年間降水量 …… 1,687mm ●最高気温 … 37.9℃
●年間日照時間 … 2,350時間 ●最低気温 … -2.1℃
●平均気温 …… 16.5℃ (H29～R2平均)

豊橋市は、南方を太平洋が流れ、東北の二方を山脈に囲まれているため比較的温暖で、農作物の栽培には適している地域である。しかし、冬季に北西の季節風「三河のからっ風」が吹き肌寒さを感じる。

営農の特色

地域の特徴や自然条件を生かした園芸地帯に発展しており、野菜、果樹、花き、米など多品目の産地を形成している。豊橋農協では営農の基盤となる事業所を各地域(6ヶ所)におき、農業の発展に努めている。

●南部

梅田川以南から太平洋にかけての地域で渥美半島につながる園芸産地として盛んである。

水稻

露地(秋冬)／キャベツ、白菜、ブロッコリー、リーフ系レタス

露地(春夏)／西瓜、冬瓜、メロン、スイートコーン、玉ねぎ

施設／ミニトマト、トマト、ナス、大葉、エンドウ、温室メロン、イチゴ

果樹／みかん、梨、いちじく

花き／デルフィニウム、バラ、グロリオサ、カーネーション、スイートピー、菊

畜産／肉牛、肉豚、鶏卵



●西部

三河湾に面した地域で、江戸時代から明治時代にかけて新田開発が行われ水稻の栽培が中心である。

水稻

露地／キャベツ、レタス、スイートコーン

施設／ラディッシュ、イチゴ、ミニトマト、トマト

果樹／いちじく



●北部・東部

弓張山系から豊川に至る緩やかな丘陵地帯で果樹栽培の盛んな地域である。

水稻

果樹／柿、梨、桃、ぶどう、いちじく、桃

施設／イチゴ、ミニトマト、軟弱野菜、つまもの

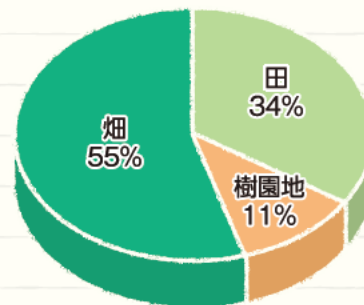
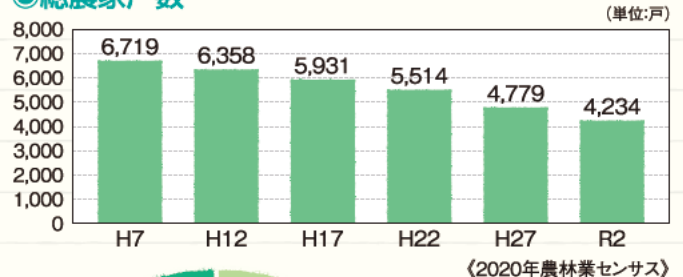
畜産／肉豚



農業の概要

豊橋の農業は、立地条件に恵まれ、生産性の高い園芸地帯を形成しており、市の基幹産業のひとつにもなっている。露地野菜、施設野菜、果樹、畜産など各地域によって経営の特色がある。

●総農家戸数



●経営耕地面積

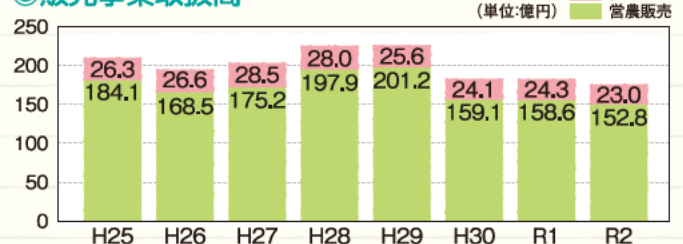
田 1,432ha
畑 2,278ha
樹園地 453ha
合計 4,163ha
《2020年農林業センサス》

農協の概要

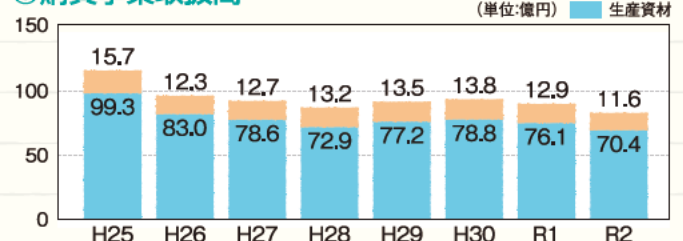
組合員数	職員数
(正) 7,596名	(男) 305名
(准) 10,997名	(女) 148名
合計 18,593名	合計 453名

《令和3年3月末現在》

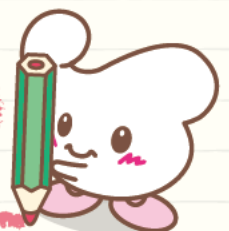
●販売事業取扱高



●購買事業取扱高



地域それぞれの
特徴や自然条件を
活かして農畜産物を
育てています。



ひと味違う特産農産物

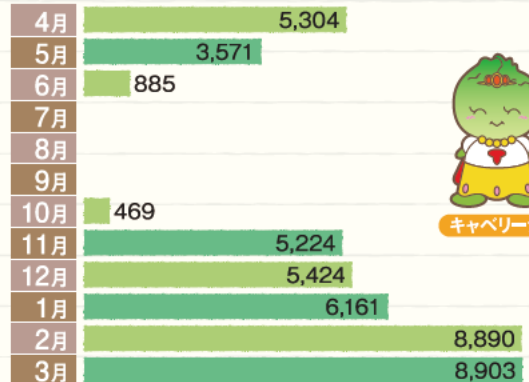
愛知県の東南部に位置し、太平洋に面し平坦で肥沃な土壌と穏やかな気候に恵まれた豊橋市。豊川用水の全面通水により、豊かな水を活かして全国でも有数の園芸地帯へと発展しました。京浜・中京・京阪神と大消費地に近く農業産出額において**全国でも上位を誇る農業王国**です。

JA豊橋では多様化する消費者ニーズに応え、**「安全で安心な農作物」**をお届けし、これからも**「豊橋ブランド」**として定着をすすめていきます。



キャベツ

B-1 C-2
C-1 C-3



計 44,832t



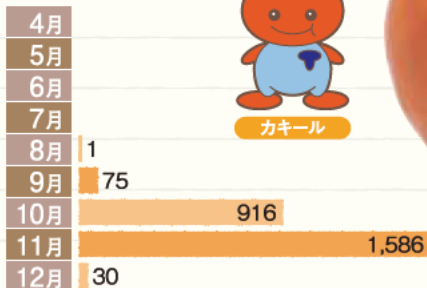
キャベリーナ

柿

A-3



カキール



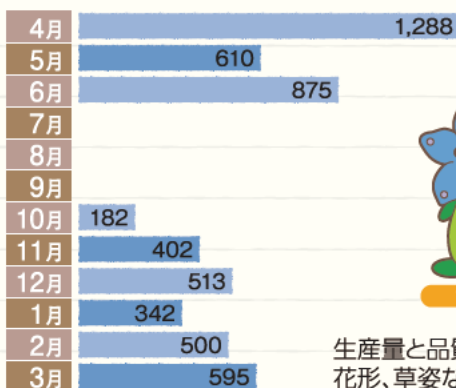
「次郎柿」日本一の産地。四角く平べったい形が独特の「次郎柿」特徴はやや固めの果肉でシャキッとした歯ごたえと深みのある甘さ。

計 2,607t



デルフィニウム

B-1 C-2
C-1 C-3



マリン

生産量と品質ともに日本一。花色の豊富さとさまざまな花形、草姿など全国一の多品種栽培。

計 5,307千本



ひと味違う 特産農産物

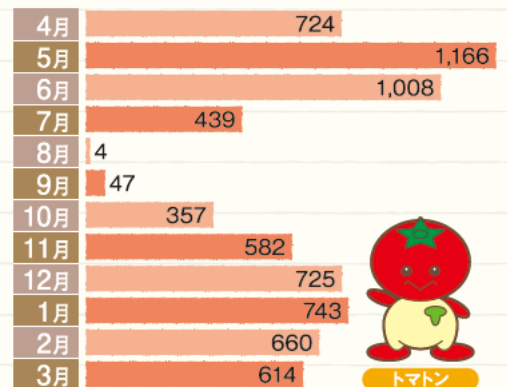


固くしまっらずっしり重い「冬系」と甘くやわらかな「春系」。真冬でも栽培できる温暖な気候と水に恵まれ全国有数の大産地。豊橋市で最も栽培面積の多い野菜。



トマト

B-1 C-2
C-1 C-3



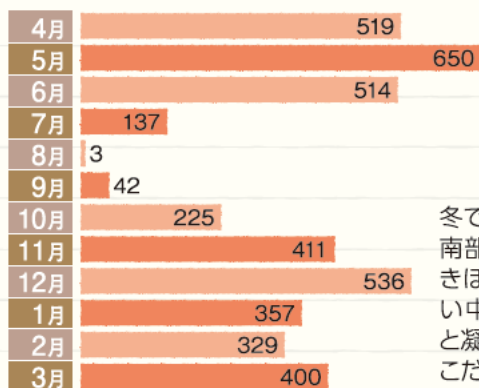
トマトン

計 7,070t

トマト部会は養液栽培普及や技術改良の取組み、活発な部会活動が評価され平成29年度に第47回日本農業賞大賞を受賞しました。

ミニトマト

B-1 C-2
C-1 C-3



ミニトマ

冬でも温暖で日照に恵まれ、南部地域を中心に盛夏を除きほぼ1年通して栽培。小さい中に旨みと栄養がギュッと凝縮。あまえぎみも糖度にこだわって栽培しています。

計 4,123t

こだわりトマト「麗」「美」「愛」

より糖度を高めるためにトマトにストレスを与えて栽培した高糖度のトマト、ミニトマトを「麗」「美」「愛」として出荷しています。

「麗」は超完熟トマトで、「もはや野菜ではなく果物」の味わい。「美」「愛」は「麗」に比べ少し糖度は及びませんが、食味と旨味をかねそなえた逸品。またミニトマトの「麗」は高品質な「赤い宝石」です。



野菜 Vegetable

太陽の恵みをいっぱい受けて、
美味しく育ちました。

梅田川以南から太平洋にかけては、渥美半島につながる大農
業地帯。広大な土地と温暖で豊かな日照のもとで育った農産物
は、うまみが凝縮しており、品質は常にトップクラスを自負して
います。

毎日の野菜・くだもの
足りてますか？

野菜
350g

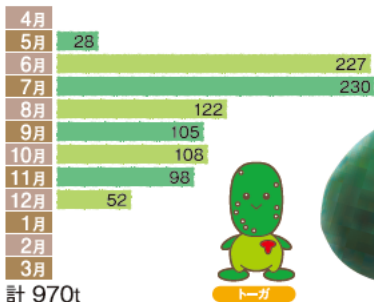
果物
200g

地元から大消費地まで
新鮮でみずみずしいまま
お届けします！



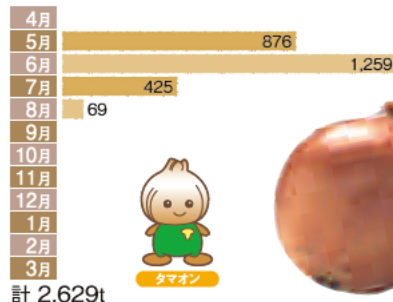
春夏

とうがん B-1 C-1 C-3



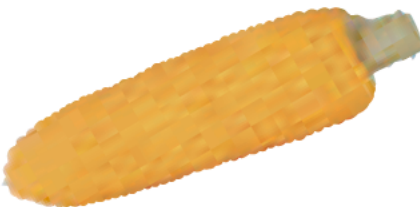
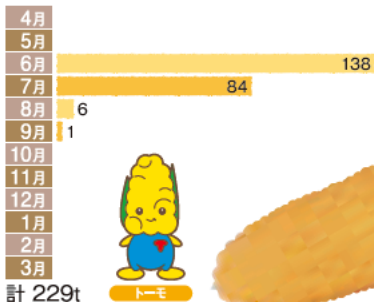
日本一の品質を誇る「琉球種」のとうがんを栽培。緑が濃くつやがあり、皮が薄く実が厚い。

たまねぎ C-3



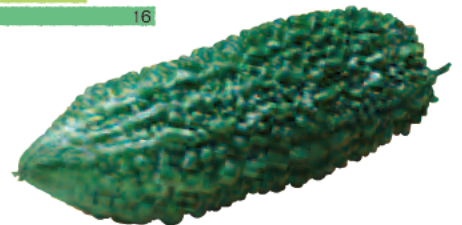
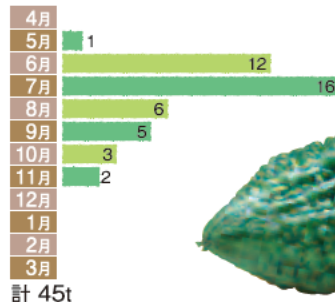
やわらかく食感の良い「早生品種」から「晩生品種」までを組み合わせ、生食から加工まで幅広い料理に向いたたまねぎを栽培。

スイートコーン B-1 C-2 C-3



黄色粒で糖度の高いと「ゴールドラッシュ」を中心に栽培。鮮度が重要なスイートコーンは朝獲り出荷と真空予冷システムで新鮮さを保つ。

にがうり C-2

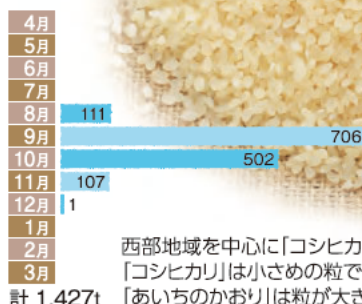


長くて太い品種の「長福」を中心に色の濃いにがうりを栽培。ほどよい苦みで食べやすい。



米 Rice

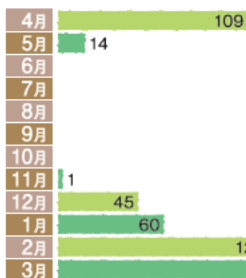
A-3 B-1



西部地域を中心に「コシヒカリ」と「あいちのかおり」を主に栽培。「コシヒカリ」は小さめの粒で一粒一粒しっかりしているのが特徴。「あいちのかおり」は粒が大きく炊き上がりは光沢よくふっくら。

えんどう

C-1 C-2 C-3



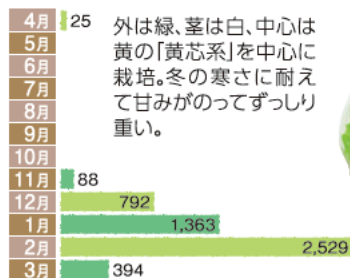
計 511t



実を成熟させずサヤを味わう「絹さやえんどう」と肉厚なサヤごと食べられるのが魅力の「スティックサラダ」を南部地域を中心に栽培。

はくさい

C-2 C-3



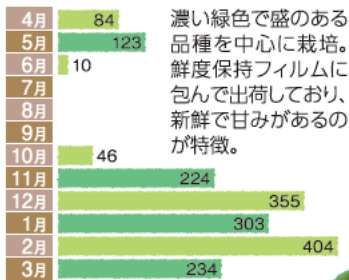
計 5,191t



外は緑、茎は白、中心は黄の「黄芯系」を中心に栽培。冬の寒さに耐えて甘みがのってずっしり重い。

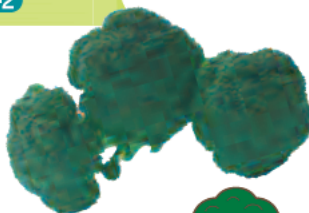
ブロッコリー

C-1 C-2 C-3



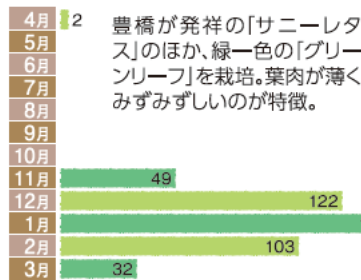
計 1,782t

濃い緑色で盛のある品種を中心に栽培。鮮度保持フィルムに包んで出荷しており、新鮮で甘みがあるのが特徴。



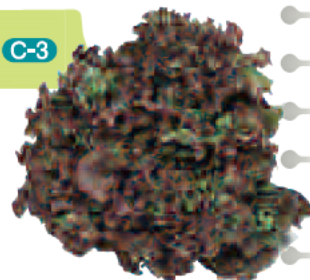
サニーレタス

C-1 C-2 C-3



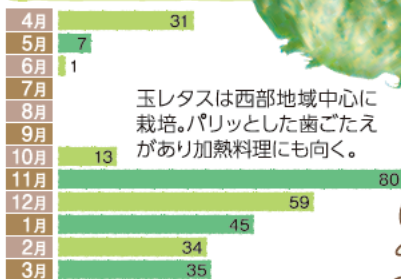
計 452t

豊橋が発祥の「サニーレタス」のほか、緑一色の「グリーンリーフ」を栽培。葉肉が薄くみずみずしいのが特徴。



レタス

B-1



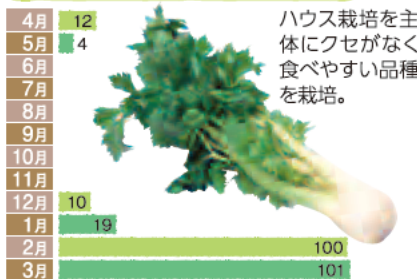
計 305t

玉レタスは西部地域中心に栽培。パリッとした歯ごたえがあり加熱料理にも向く。



セルリー

C-1



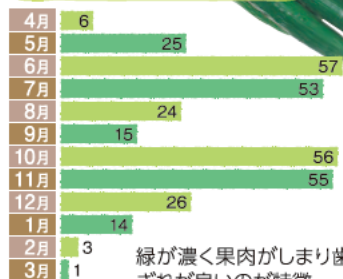
計 246t

ハウス栽培を主体にクセがなく食べやすい品種を栽培。



きゅうり

C-1 C-3



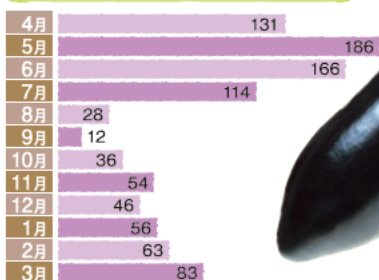
計 335t

緑が濃く果肉がしまり歯ざれが良いのが特徴。



なす

A-2 C-1



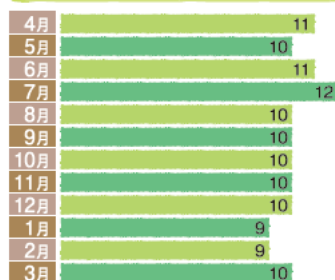
計 975t



ハウスで周年栽培。品種は皮が柔らかい「千両なす」、クセが無く食べやすい「輝なす」を栽培。

大葉

C-1 C-2



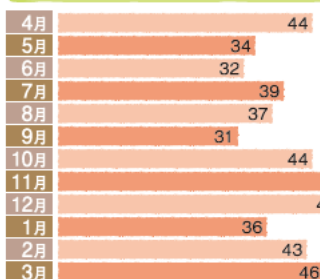
計 122t



東三河地域は大葉の全国シェア5割を占め、ここ豊橋が全国一の大産地。

ラディッシュ

A-2 B-1



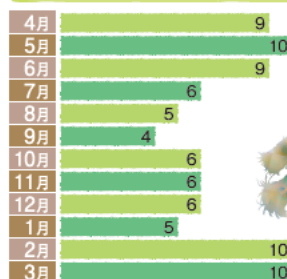
計 490t



豊橋が全国一の産地。大村・吉田方地域を中心に年間を通して栽培。色鮮やかな真紅と歯ごたえの良さが魅力。

ねぎ

C-2

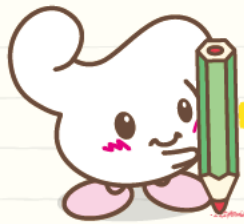


計 86t



鮮やかな新緑色の葉ねぎは水耕と土耕のビニールハウスで年間を通して栽培。

果物 Fruit



あまくて新鮮！

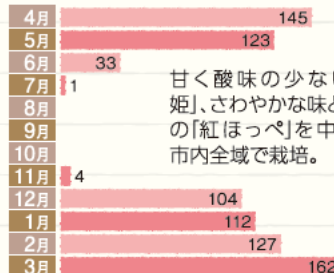
豊橋の果物たち。

弓張山系から豊川にいたる緩やかな丘陵地帯では、柿をはじめ、ぶどう、梨、桃など果樹栽培が盛ん。ひとつひとつ丹精こめて収穫される旬の果物は、毎日の食卓に欠かせません。



いちご

A-1 B-1
A-3 C-2

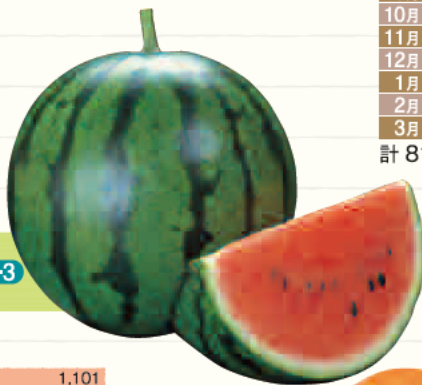


計 811t

甘く酸味の少ない「章姫」、さわやかな味と香りの「紅ほっぺ」を中心に市内全域で栽培。

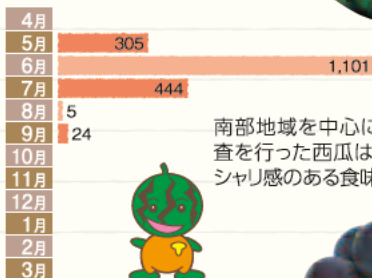


ベリー



すいか

C-1 C-2 C-3



計 1,879t

南部地域を中心に栽培。糖度検査を行った西瓜はどれも甘みとシャリ感のある食味。



スイカール

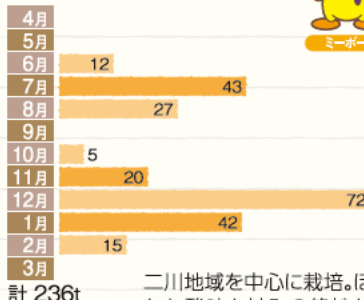


みかん

B-3



ミーボー

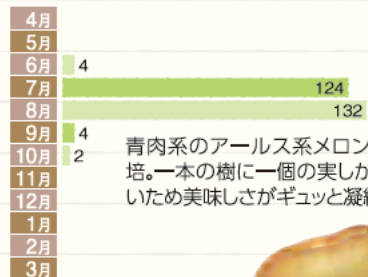


計 236t

二川地域を中心に栽培。ほのかな酸味と甘みの絶妙なバランス。ハウスと露地で長期にわたり出荷。

アールスメロン

C-1 B-2
C-2



計 266t

青肉系のアールスメロンを中心に栽培。一本の樹に一個の実しかつけさせないため美味しさがギュッと凝縮。



メロリン

ぶどう

A-3 B-3



計 97t

「種なし巨峰」発祥の地。JA豊橋管内で栽培されるぶどうはすべて「種なしぶどう」。種がない分、食べやすい。巨峰とシャインマスカットを中心に栽培。



ブドール

梨

A-3 C-3



計 115t

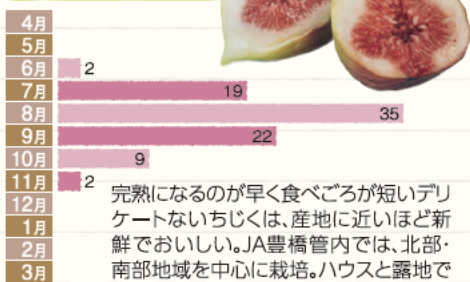
「幸水」「豊水」「あきづき」「新高」の4品種を中心に、夏から秋にかけて長期にわたり出荷。



ナッシー

いちじく

A-3

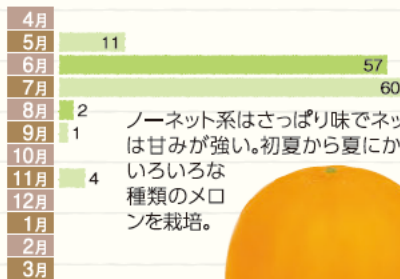


計 89t

完熟になるのが早く食べごろが短いデリケートないちじくは、産地に近いほど新鮮でおいしい。JA豊橋管内では、北部・南部地域を中心に栽培。ハウスと露地で夏から秋にかけて長期にわたり出荷。

露地メロン

C-1 C-2 C-3



計 135t

ノーネット系はさっぱり味でネット系は甘みが強い。初夏から夏にかけていろいろな種類のメロンを栽培。



桃

A-3



計 26t

旬の季節にしか味わえない桃。山本勘助ゆかりの地豊橋で「勘助桃」として出荷している。魅力は大玉でジューシーな甘み。



ピーチル

花 Flower

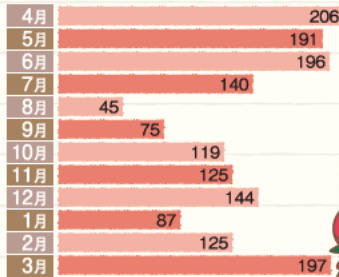
心を彩る 色とりどりの花。



豊橋の南部地域を中心に、デルフィニウムやバラ、グロリオサなど切花類の栽培が盛んです。豊富な種類、花色があり、3月から5月が出荷のピーク。人の心を和ませ、生活に感動と安らぎを与えてくれる自慢の花たちです。「彩り」満載のとよはしの花を「彩・愛の人」へ。

バラ

C-1
C-2 C-3



計 1,650千本



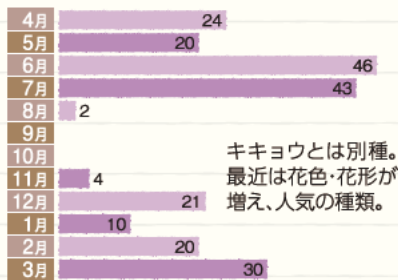
パーバラ

一輪咲き、スプレー咲きがあり、花形やカラーバリエーションも豊富。



トルコキキョウ

C-3



キキョウとは別種。最近では花色・花形が増え、人気の種類。

計 220千本



スイートピー

C-1
C-2 C-3



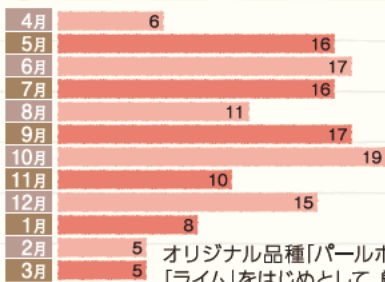
計 708千本

可憐なスイートピーはボリュームがあり種類もカラーバリエーションも豊富。



グロリオサ

C-1
C-2 C-3



計 145千本

オリジナル品種「パールホワイト」「ライム」をはじめとして、厳格な品質基準のもと年間通して栽培。

カーネーション

C-1
C-3



計 836千本

少量多品種栽培でスプレー系を中心に多彩な品種バリエーションを栽培。

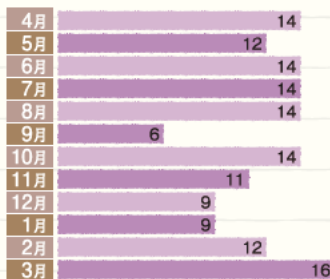


カーネ



ラン(切り花)

C-2
C-3



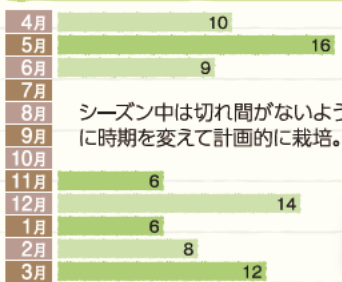
計 145千本



高級感と品種の多さから花の王様。切花栽培では「カトレア」を多く栽培。

かすみ草

C-1



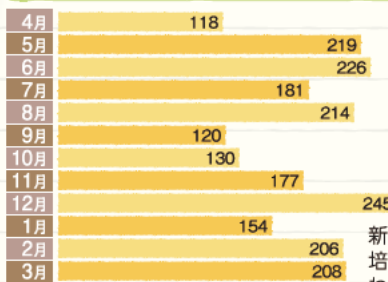
計 81千本

シーズン中は切れ間がないように時期を変えて計画的に栽培。



その他切り花

C-1
C-2 C-3



計 2,198千本

新しい品目の栽培に積極的。ひまわり、けいとうを中心に多種多様。

